富士通 PRIMERGY/PRIMEPOWER /S Series/IPCOM PW-PM1RK1/2 ラックマウントキット 取扱説明書

はじめに

このたびは、富士通PMANモデル100、コンセントボックス１用ラックマウントキット（PW-PM1RK1/2）をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
ラックマウントキットPW-PM1RK1は、PMANモデル100やコンセントボックス１をスタンダードラック（PG-R3RC1/2,PG-R4RC1/2,PW-R3RC1/2,PW-R4RC1/2）およびスリムラック（GP5-R1RC6/7,GP5-R2RC3/4,PW-R1RC6/7,PW-R2RC3/4）に搭載する為のラックマウントキットです。また、ラックマウントキットPW-PM1RK2は、PMANモデル100やコンセントボックス１を72インチ拡張ラック（XS-RACK1）に搭載する為のラックマウントキットです。本書は本装置における基本的な取扱いについて説明しております。ご使用にあたっては本書、およびPMANモデル100、コンセントボックス１の取扱説明書の内容を理解の上ご使用願います。

	ＰＷ－ＰＭ１ＲＫ１	ＰＷ－ＰＭ１ＲＫ２
サポートラック	スタンダードラック (PG-R3RC1/2, PG-R4RC1/2, PW-R3RC1/2, PW-R4RC1/2)	72インチ拡張ラック (XS-RACK1)
	スリムラック (GP5-R1RC6/7, GP5-R2RC3/4, PW-R1RC6/7, PW-R2RC3/4)	

ラックマウントキット対応表

安全上のご注意

本製品は安全のために注意事項を守らないと、ケガなどの人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

安全のために注意事項をお守りください。

この「安全上のご注意」をよくお読みください。

故障したら使用しないでください。

不都合が生じた場合は、そのままお使いにならないでご購入元にご連絡ください。

警告表示の意味

本説明書では安全上の注意点および使用上の留意点を以下のマークとともに表示しています。内容をよくご理解の上、正しく本装置を使用してください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を記述しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損壊を招くと想定される内容を記述しています。

⚠ 注意

- **強い衝撃を与えないでください。金具が変形し、故障の原因となります。**

１　作業上の注意事項

1.1　一般的な注意事項

装置の点検・交換・設定を行う場合は、次の点に注意して行って下さい。

1)　装置の交換、コネクタの着脱およびケーブル接続時は、必ず装置の電源を切断してから行ってください。

2)　装置のカバーを拭く場合は、水を湿らせた布で拭いてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を使用してください。

3)　各部のネジは不用意に緩めないようにしてください。　取り外した場合は、ネジを装置内に落下させたり、紛失しないように注意し、　　　元の位置に取り付けて下さい。

1.2　ラック搭載時の注意事項

1)　ラックへの PMAN モデル 100 クミタテ、およびコンセントボックス１クミの搭載作業は静かに行ってください。

2)　ラックにより搭載に使用するネジのネジ山の仕様が異なるので注意して下さい。　各ラックの支柱に取り付けるネジ仕様のみが異なります。
- スタンダードラック，スリムラックはミリネジを使用しています。
- ７２インチ拡張ラックに使用するネジは、ユニファイネジを使用しています。

3)　ケーブルに引っ掛かりがある場合は、背面に回り込み引っ掛かり部を解除してください。

4)　PMAN モデル 100 クミタテを引き出した状態で、以下の点に注意してください
- ラックの扉を閉めないで下さい。
- 引き出した状態では作業場所を離れないで下さい。
- 頭上等、引き出した状態での作業に注意してください。

いずれも、けが・損傷につながる恐れがあります。

⚠ 注意

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。(原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など)

目次

１．作業上の注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
２．ご使用になる前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．ラック搭載イメージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
４．組立・取付方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
　４．１　ＰＭＡＮモデル１００の組立・取付・・・・・・・・・・・・・　９
　４．２　コンセントボックス１の組立・取付・・・・・・・・・・・・・１２
　４．３　ラックへのレールカナグの取付・・・・・・・・・・・・・・・１４
　４．４　ラックへの搭載方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

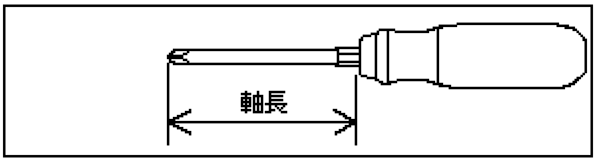
2　ご使用になる前に

　ご使用になる前に、各機種毎に次ページ以降に示す梱包物一覧が梱包されていることをお確かめください。

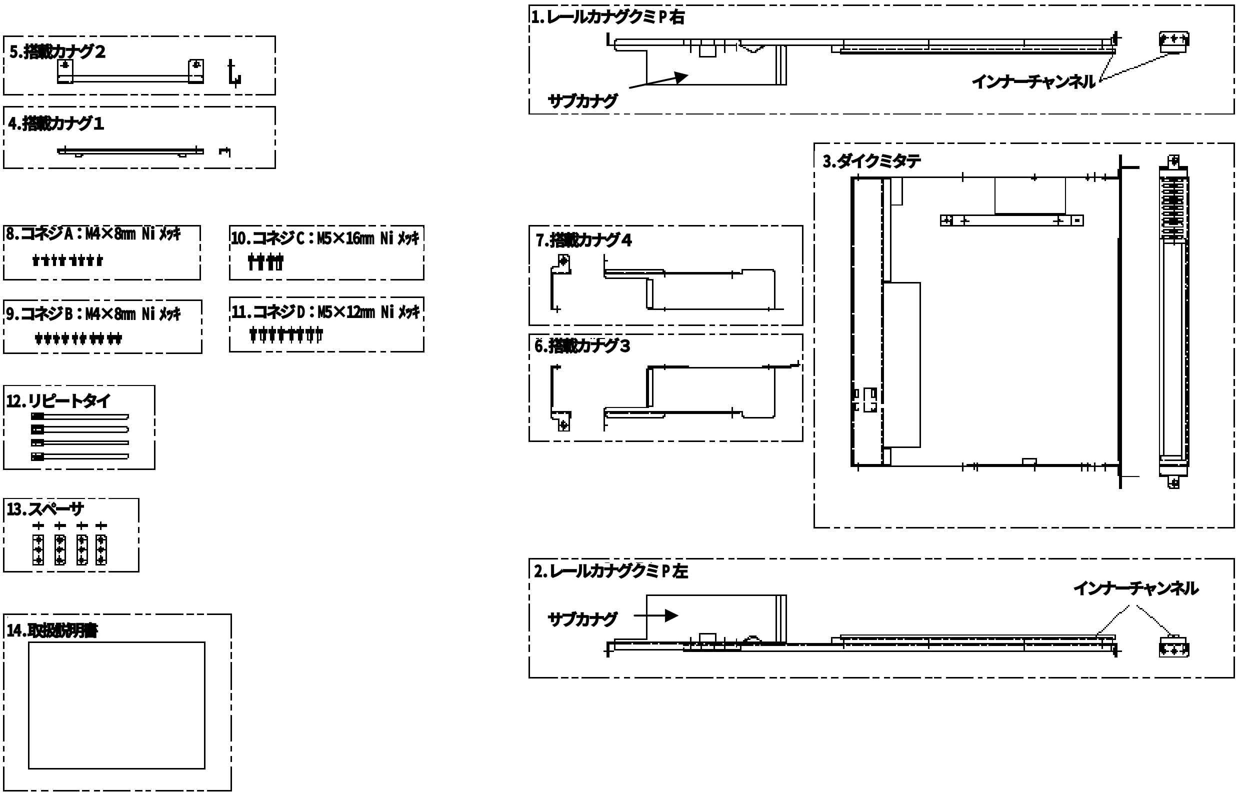
　万一不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

組み立てにあたり、下記の工具が必要となります。

・プラスドライバ　（軸長 100㎜ 以上のドライバ）

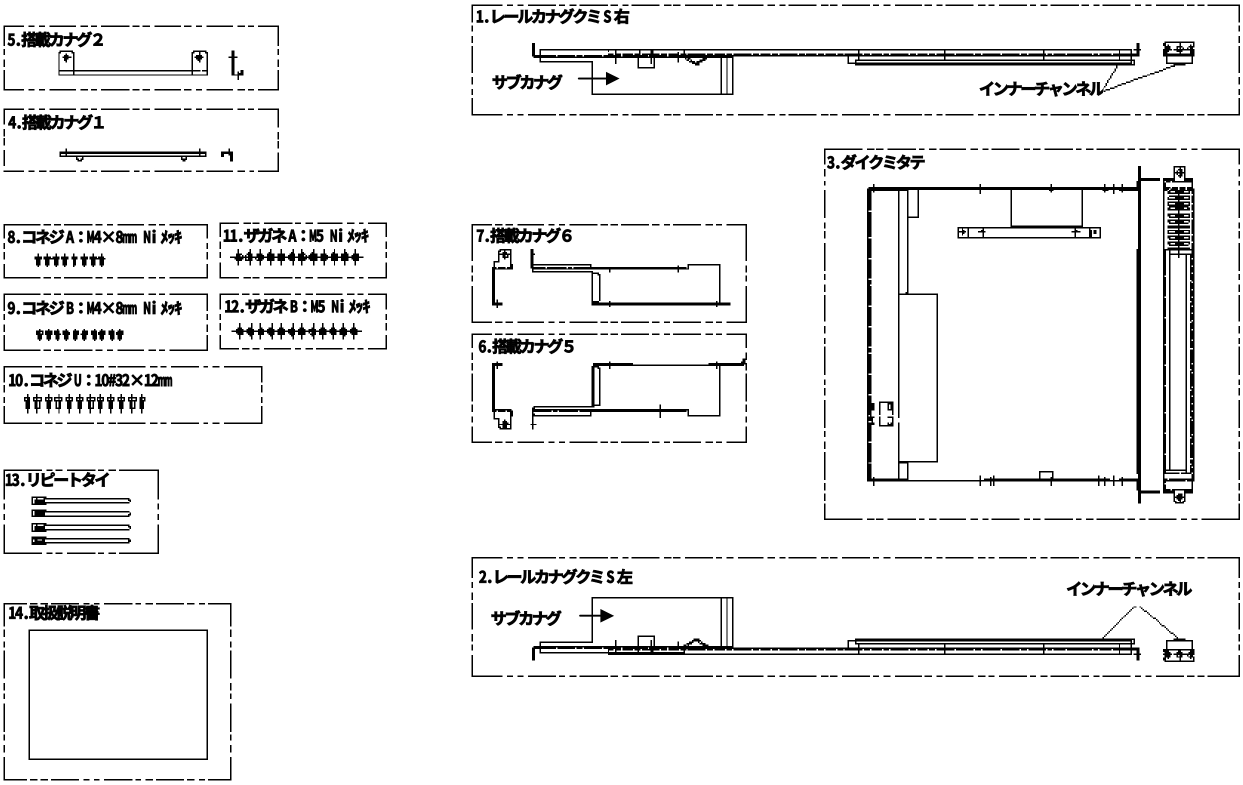


＜PW-PM1RK1 梱包物一覧＞



№	名 称	個数	内 容
1	レールカナグクミＰ右	1	ﾗｯｸ取付けﾚｰﾙｶﾅｸﾞ右側
2	レールカナグクミＰ左	1	ﾗｯｸ取付けﾚｰﾙｶﾅｸﾞ左側
3	ダイクミタテ	1	ﾗｯｸ搭載 PMAN ﾓﾃﾞﾙ 100 取付け台
4	搭載カナグ1	1	PMAN ﾓﾃﾞﾙ 100 搭載ｶﾅｸﾞ
5	搭載カナグ2	1	PMAN ﾓﾃﾞﾙ 100 搭載ｶﾅｸﾞ
6	搭載カナグ3	1	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ1搭載ｶﾅｸﾞ
7	搭載カナグ4	1	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ1搭載ｶﾅｸﾞ
8	コネジ A：M4×8mm Ni ﾒｯｷ （ザガネなし）	8	ｲﾝﾅｰﾁｬﾝﾈﾙ取付けﾈｼﾞ
9	コネジ B：M4×8mm Ni ﾒｯｷ （ザガネあり）	10	各搭載ｶﾅｸﾞ取付け、PMAN ﾓﾃﾞﾙ 100 ｸﾐ固定用ﾈｼﾞ
10	コネジ C：M5×16mm Ni ﾒｯｷ （ザガネあり）	4	PMAN ﾓﾃﾞﾙ 100 ｸﾐﾀﾃ、ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ 1 ｸﾐ固定用ﾈｼﾞ
11	コネジ D：M5×12mm Ni ﾒｯｷ （ザガネあり）	8	ﾚｰﾙｶﾅｸﾞｸﾐ P 取付けﾈｼﾞ
12	リピートタイ	4	ﾌｫｰﾐﾝｸﾞ用結束ﾊﾞﾝﾄﾞ
13	スペーサ	4	ﾚｰﾙｶﾅｸﾞｸﾐ P 取付け時に使用
14	取扱説明書	1	本書

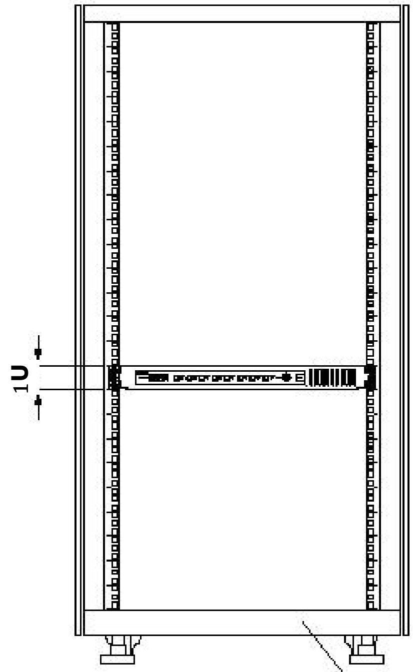
＜PW-PM1RK2 梱包物一覧＞



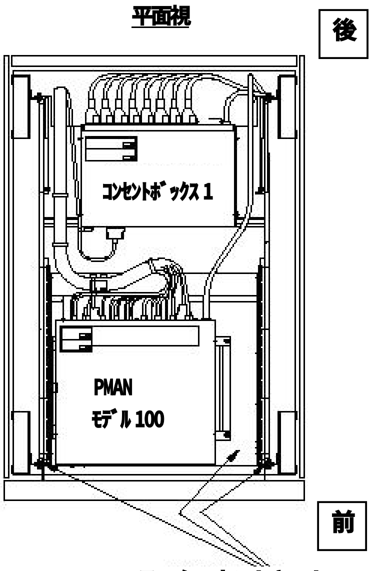
№	名　称	個数	内　容
1	レールカナグクミＳ右	1	ﾗｯｸ取付けﾚｰﾙｶﾅｸﾞ右側
2	レールカナグクミＳ左	1	ﾗｯｸ取付けﾚｰﾙｶﾅｸﾞ左側
3	ダイクミタテ	1	ﾗｯｸ搭載 PMAN ﾓﾃﾞﾙ 100 取付け台
4	搭載カナグ1	1	PMAN ﾓﾃﾞﾙ 100 搭載ｶﾅｸﾞ
5	搭載カナグ2	1	PMAN ﾓﾃﾞﾙ 100 搭載ｶﾅｸﾞ
6	搭載カナグ5	1	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ1搭載ｶﾅｸﾞ
7	搭載カナグ6	1	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ1搭載ｶﾅｸﾞ
8	コネジ A：M4×8mm Ni ﾒｯｷ （ザガネなし）	8	ｲﾝﾅｰﾁｬﾝﾈﾙ取付けﾈｼﾞ
9	コネジ B：M4×8mm Ni ﾒｯｷ （ザガネあり）	10	各搭載ｶﾅｸﾞ取付け、PMAN ﾓﾃﾞﾙ 100 ｸﾐ固定用ﾈｼﾞ
10	コネジ U：10＃32×12mm （ユニファイネジ）	12	PMAN ﾓﾃﾞﾙ 100 ｸﾐﾀﾃ、ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ 1 ｸﾐ、ﾚｰﾙｶﾅｸﾞｸﾐＳ固定用ﾈｼﾞ
11	ザガネＡ ： M5 Ni ﾒｯｷ	12	ｺﾈｼﾞ U 用ｻﾞｶﾞﾈ
12	ザガネＢ ： M5 Ni ﾒｯｷ	12	ｺﾈｼﾞ U 用ｻﾞｶﾞﾈ
13	リピートタイ	4	ﾌｫｰﾐﾝｸﾞ用結束ﾊﾞﾝﾄﾞ
14	取扱説明書	1	本書

３.ラック搭載イメージ

前面視

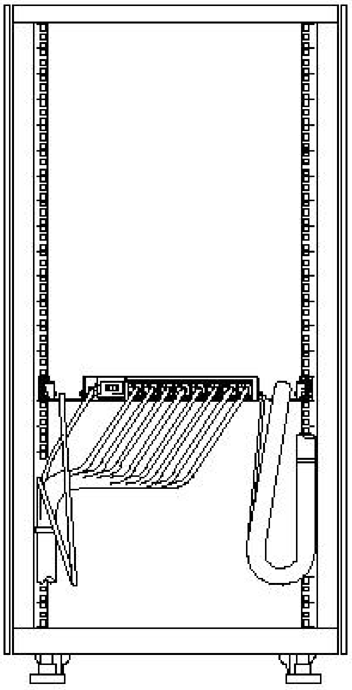


平面視



ラック搭載イメージ図

背面視



4　組立・取付方法

4.1 PMAN モデル 100 の組立・取付

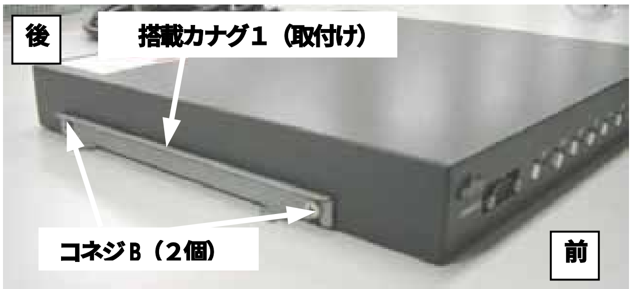
4.1.1 搭載カナグの取付け

搭載カナグおよび取付けネジは、PW-PM1RK1 又は PW-PM1RK2 の構成品であり、両方に共通です。

取付け手順（用意する物：搭載カナグ１、２、コネジ B）

1) PMAN モデル 100 の上カバーの取付けネジ①：４個（右側面側２個、左側面側２個）を外して下さい。
   外したネジ①はラック搭載では使用しないので保管しておいて下さい。

2) 搭載カナグ１をコネジ B：２個で取付けて下さい。



3) 搭載カナグ２をコネジ B：２個で取付けて下さい。

以上で搭載カナグの取付けが完了しました。
以降、PMAN モデル 100 に搭載カナグを取付けたものを「PMAN モデル 100 クミ」と言います。

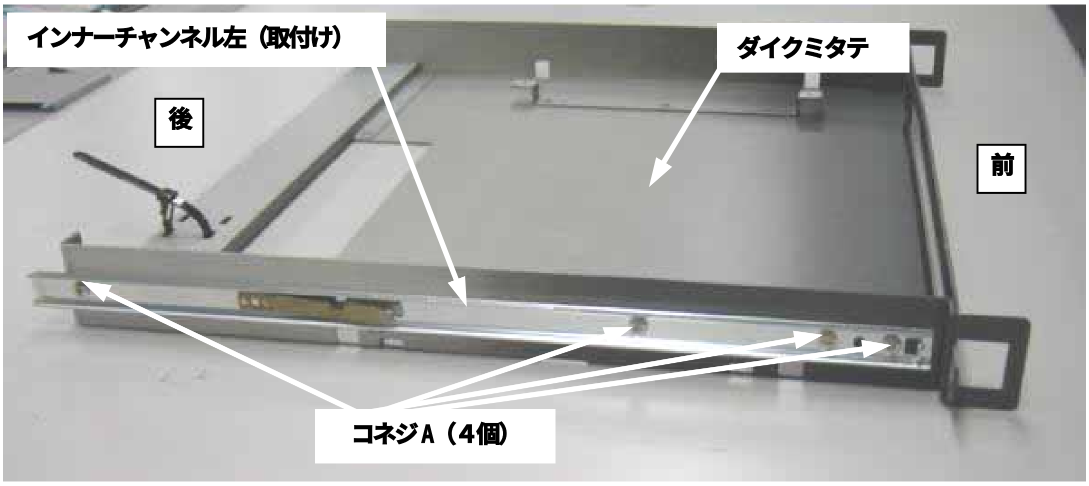
<u>PMAN モデル 100 への搭載カナグの取付け図</u>

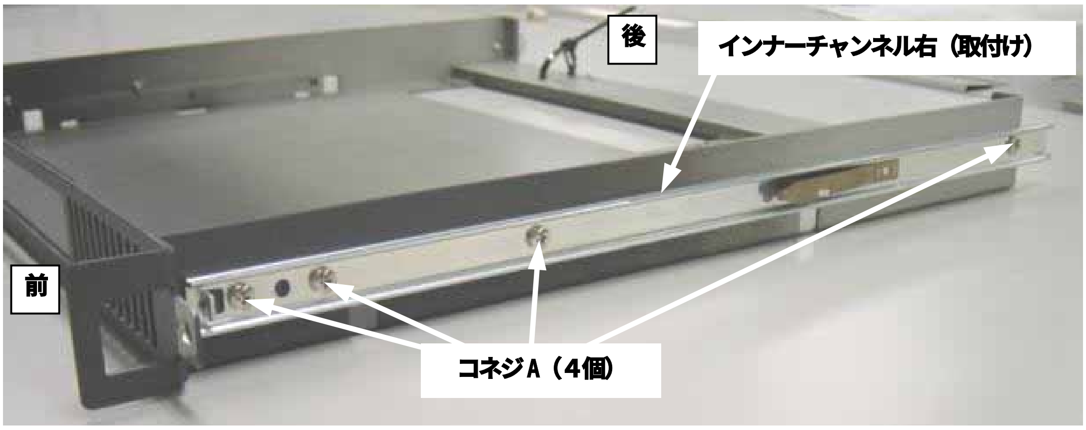
4.1.2 インナーチャンネルの取付け

取付け手順（用意する物：ダイクミタテ、インナーチャンネル右左、コネジ A）

レールカナグクミＰ(PW-PM1RK1 用)またはレールカナグクミＳ(PW-PM1RK2 用)の右/左から外したスライドレールのインナーチャンネル２本をコネジ A：８個でダイクミタテの左右に取り付けて下さい。インナーチャンネルの取外しは、「4.3.2 レールカナグクミ P の取付け」の(1)項、または「4.3.3 レールカナグクミ S の取付け」の(1)項を参照してください。

以上でインナーチャンネルの取付けは完了しました。



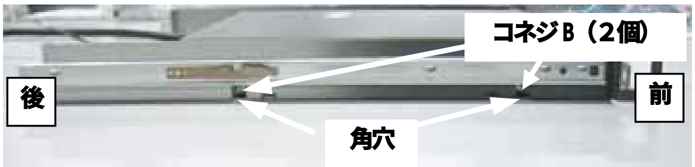


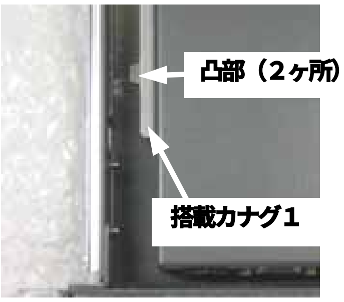
インナーチャンネルの取付け図

4.1.3 PMAN モデル 100 クミのダイクミタテへの取付け

取付け手順（用意する物：ダイクミタテ、PMAN モデル 100 クミ、コネジ B）

1) ダイクミタテに PMAN モデル 100 クミを載せて下さい。
2) 搭載カナグ１の凸部２ヶ所をダイクミタテの角穴にはめ込んで下さい。

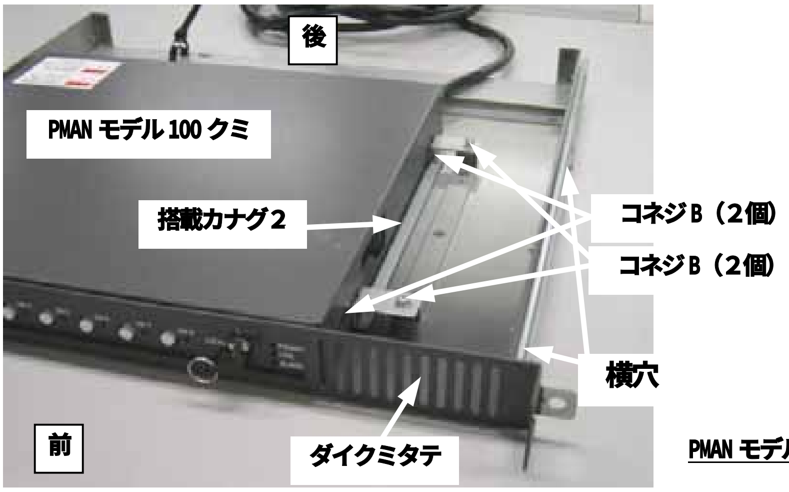




3) PMAN モデル 100 の底面がダイクミタテの上面に密着するようにコネジ B：２個をダイクミタテ側面の横穴から工具を通して緩め、搭載カナグ２を動かし調整、固定して下さい。

4) コネジ B：２個をダイクミタテ側面の横穴から工具を通して緩め搭載カナグ１を上方に持ち上げ、固定して下さい。

5) コネジ B：２個で PMAN モデル 100 クミをダイクミタテに固定して下さい。
コネジ B は、PW-PM1RK1 又は PW-PM1RK2 の構成品です。



<u>PMAN モデル 100 クミのダイクミタテへの搭載図</u>

以上で PMAN モデル 100 のダイクミタテへの取付けが完了しました。
以降、ダイクミタテに PMAN モデル 100 クミを搭載したものを「PMAN モデル 100 クミタテ」と言います。

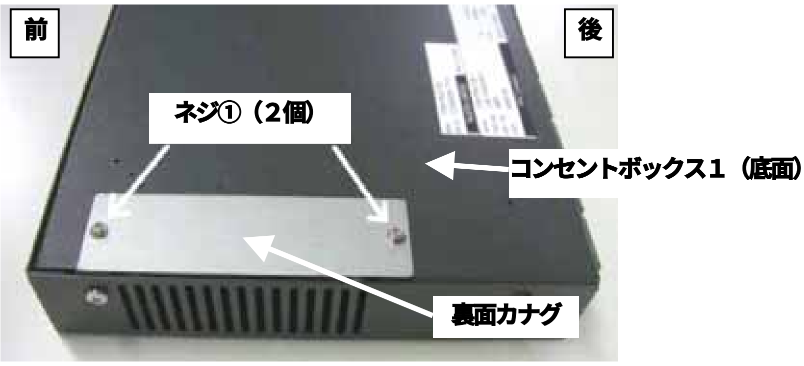
4.2 コンセントボックス１の組立・取付方法

まず、コンセントボックス１に搭載カナグを取付けます。
搭載カナグ及び取付けネジは以下の物品の構成品であり、搭載カナグは両方で違いますが取付け要領は同様です。
ここでは、PW－PM1RK1 の搭載カナグの取付けについて図示し、説明します。

ラックマウントキット	搭載カナグ	
PW－PM1RK1	搭載カナグ 3	搭載カナグ 4
PW－PM1RK2	搭載カナグ 5	搭載カナグ 6

取付け手順（用意する物：コンセントボックス１、搭載カナグ 3、4、5、6、コネジ B、ケーブル、リピートタイ）

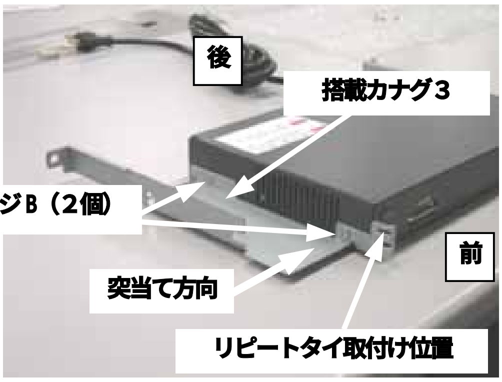
1） コンセントボックス１の裏面カナグのネジ①：２個を取り外してください。外したカナグ、ネジ①はラック搭載では使用しないので、保管しておいて下さい。

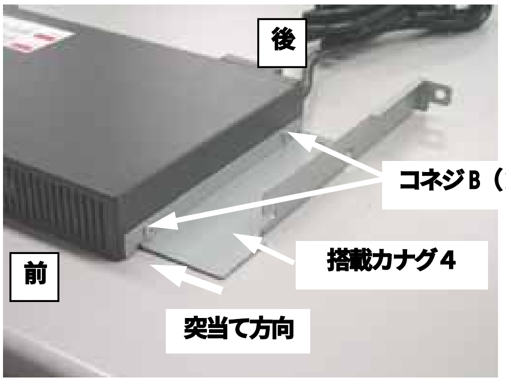


2） コンセントボックス１の上カバーの取付けネジ②：４個（右側面側２個、左側面側２個）を外して下さい。外したネジ②はラック搭載では使用しないので、保管しておいて下さい。

3） 搭載カナグ 3 をコネジ B：２個で取付けて下さい。

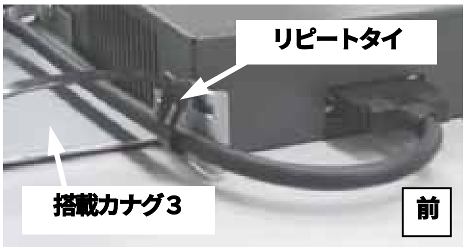
4） 搭載カナグ 4 をコネジ B：２個で取付けて下さい。
- 搭載カナグ 3,4 は矢印方向に突当てて取付けて下さい。





5） コンセントボックス１に添付のケーブルをコンセントボックス１の CONTROL 表示のコネクタに接続して下さい。ケーブルに前、後はありません。

6） 上記ケーブルを搭載カナグ 3 にリピートタイでクランプして下さい。
- ケーブルは無理な力が掛らない程度に曲げてください。又リピートタイは本体の上、下面に出ないよう方向付けをして下さい。必要なら、先端を切断してください。



<u>ケーブル取付け例</u>

注１）6 項で使用する物品は PW－PM1RK1 又は RK2 の構成品です。
注２）搭載カナグ 5,6 の場合も同様に取付けて下さい。

以上でコンセントボックス１の組立、取付けが完了しました。
以降、コンセントボックス１に搭載カナグを取付けたものを「コンセントボックス１クミ」と言います。

４．３　ラックへのレールカナグクミの取付け

4.3.1 レールカナグクミの取付け位置・方向

レールカナグクミ P、レールカナグクミ S 共にラックへの取付位置・方向は同じです。
以下、レールカナグクミ P の取り付け位置の方向について記述します。

取付け時の注意点

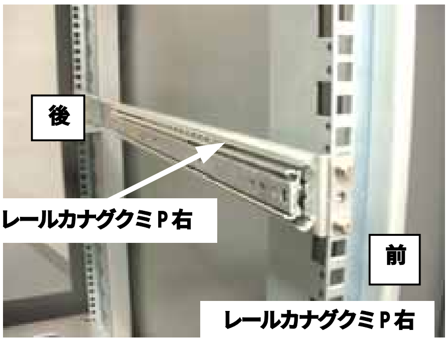
(1) 柱の 1U 内に取付けて下さい。2U にまたがった取付けはできません。

(2) 前・後の柱の同一位相の 1U 内に取付けて下さい。

(3) ラックに搭載した PMAN モデル 100 がスムーズに引き出せるよう、接続したケーブルの余長が取れる高さに取付けて下さい。尚、PMAN モデル 100 の引出し寸法は、約 426mm です。

(4) 写真（レールカナグクミＰの取付け方向）に示す方向に取付けて下さい。
ラックに対し、前後、上下を逆さまにしないでください。

写真はレールカナグクミ P 右を図示しています。レールカナグクミ P 左も同様に取付けて下さい。
レールカナグクミ P 左・右は、左・右柱の同位相の 1U 内に取付けて下さい。



レールカナグクミ P の取付け位置図（前面視）

レールカナグクミ P の取付け位置図（背面視）

4.3.2　レールカナグクミＰの取付け

レールカナグクミＰは一対で、おおよそ左右勝手違いです。レールカナグクミＰ右の取付けについて図示し、説明します。

取付け手順（用意する物：ラック、レールカナグクミＰ左・右、コネジＤ）

(1)レールカナグクミP右から､スライドレールのインナーチャンネルをロック部を押しながら引き抜いて下さい。引き抜いたインナーチャンネルの取付けについては､「4.1.2 インナーチャンネルの取付け」の項を参照して下さい。

(2)ネジ①：３個を緩め、サブカナグ右を矢印方向に退避させてください。

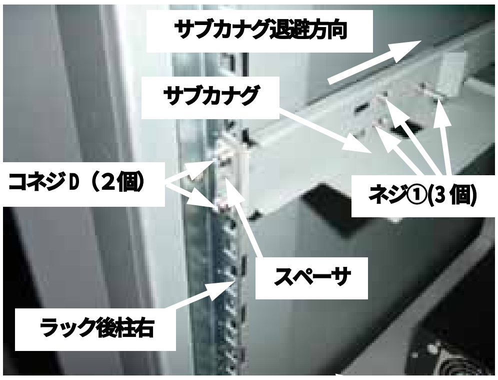
(3)レールカナグクミＰ右をスペーサ２個を介してラックに、コネジＤ：４個で取付けて下さい。

(4)ネジ①を締め付けて下さい。

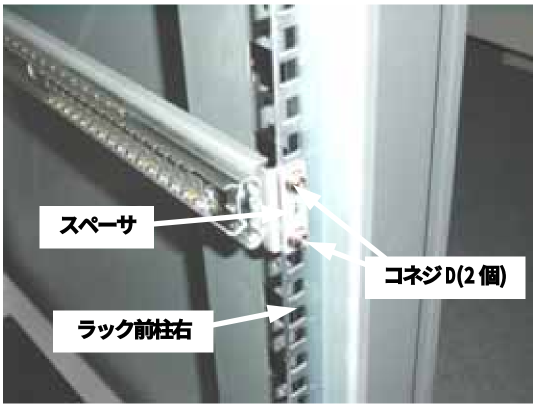
(5)レールカナグクミＰ左を同様に取付けて下さい。

注１）レールカナグクミＰは前・後・左・右の取付け用柱の同位相の 1U 内に取付けていることを必ず確認して下さい。

以上で、レールカナグクミＰの取付けが完了しました。



レールカナグクミＰの取付け位置図（背面視）



レールカナグクミＰの取付け位置図（前面視）

4.3.3 レールカナグクミＳの取付け

レールカナグクミＳは一対で、おおよそ左右勝手違いです。レールカナグクミＳ右の取付けについて図示し説明します。

取付け手順（用意する物：ラック、レールカナグクミＳ左・右、コネジU、ザガネA、ザガネB)

(1)レールカナグクミＳ右から､スライドレールのインナーチャンネルをロック部を押しながら引き抜いて下さい。
引き抜いたインナーチャンネルの取付けについては､「4.1.2 インナーチャンネルの取付け」の項を参照してください。

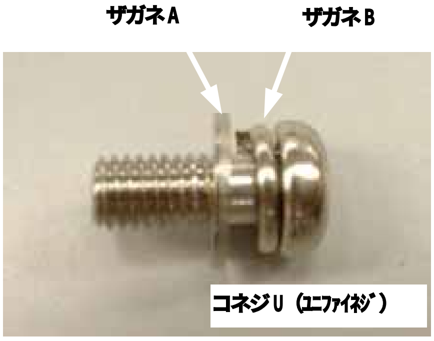
(2)ネジ①：３個を緩め、サブカナグ右を矢印方向に退避させてください。

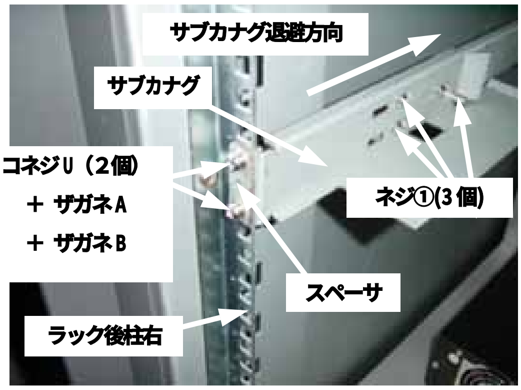
(3)レールカナグクミＳ右をラックにコネジU：４個を取付けてください。
注１）使用するコネジはユニファイネジです。仕様に注意してください。
注２）コネジUにはザガネB、ザガネAの順に挿入してください。

(4)ネジ①を締め付けて下さい。

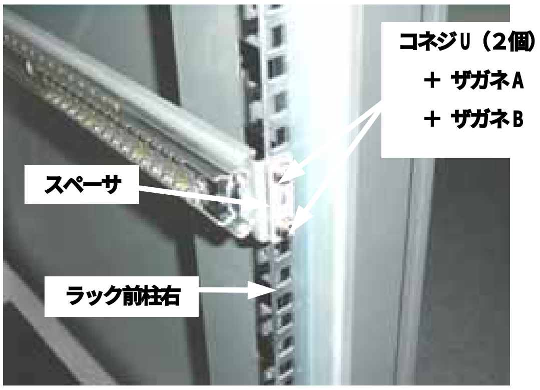
(5)レールカナグクミＳ左を同様に取付けて下さい。
注３）レールカナグクミＳは前・後・左・右の取付け用柱の同位相の1U内に取付けていることを必ず確認して下さい。

以上で、レールカナグクミＳの取付けが完了しました。





レールカナグクミＳの取付け位置図（背面視）



レールカナグクミＳの取付け位置図（前面視）

4.4 ラックへの搭載方法

4.4.1 PMAN モデル 100 クミタテのラックへの搭載

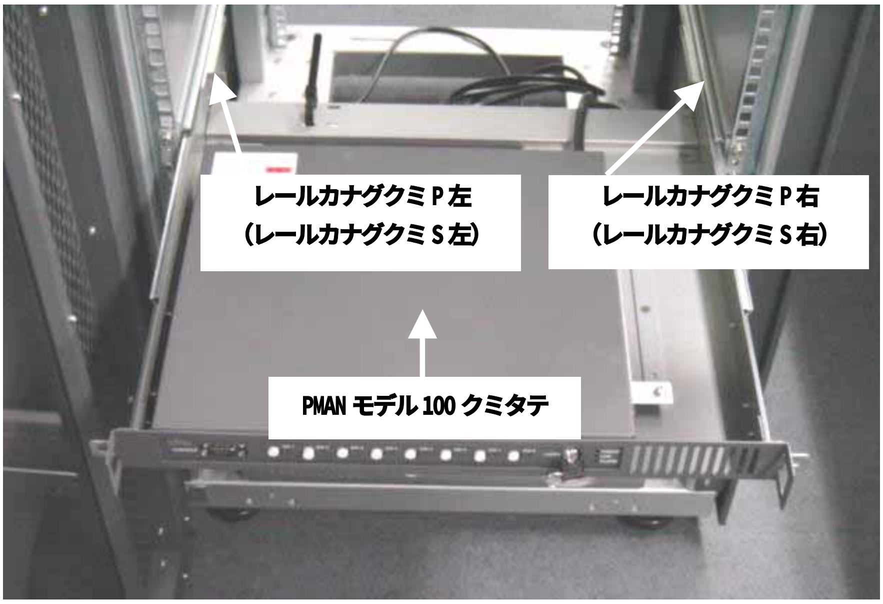
レールカナグクミ P、レールカナグクミ S 共に作業は同じです。

以下、レールカナグクミＰを主に記述します。

取付け手順

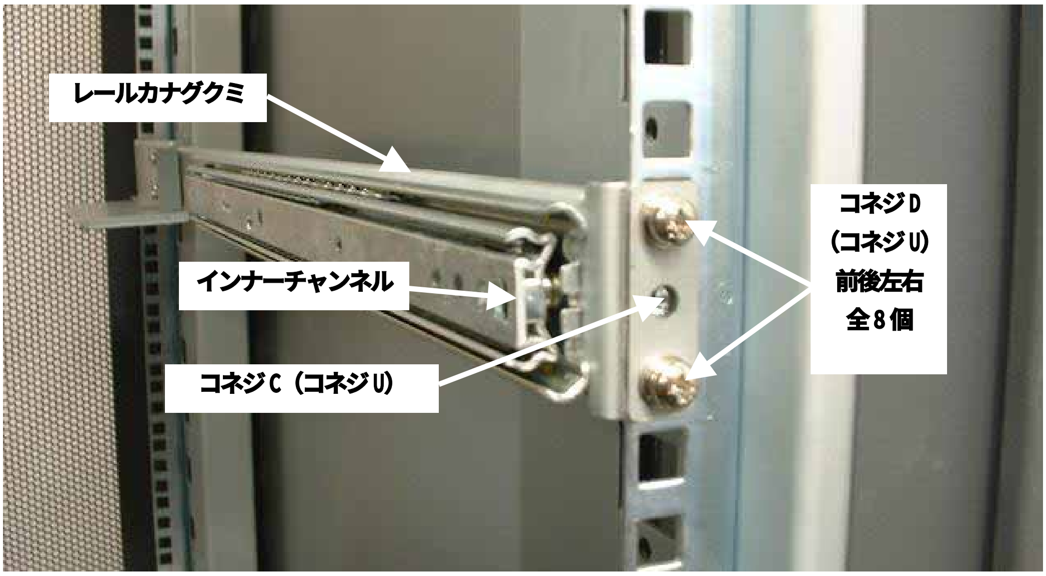
1) レールカナグクミＰの場合コネジＤを、レールカナグクミＳの場合コネジＵの全８個（前後左右）を PMAN モデル 100 クミタテを搭載しても落ちない程度に少しだけ緩めて下さい。

2) レールカナグクミＰ（レールカナグクミＳ）のインナーチャンネル部に PMAN モデル 100 クミタテのインナーチャンネル部の先端をほぼ左右同時にはめ込み、PMAN モデル 100 クミタテをラック内部に押し込んで下さい。



3) PMAN モデル 100 クミタテを２～３回出し入れし、レールをなじませながら、コネジ D（コネジ U）全８個（前後左右）を締め付け、レールカナグクミＰ（レールカナグクミＳ）を固定して下さい。

4) コネジC（コネジU）でPMANモデル100クミタテを固定して下さい。
注）スタンダードラック，スリムラックと72インチ拡張ラックではネジの仕様が異なるのでご注意願います。
レールカナグクミＰの場合：コネジC:F6-SW2N5-16121
レールカナグクミＳの場合：コネジU:FS-P-10#32-12S-M-NI
＋ ザガネA:F6-WM5-121
＋ ザガネB:F6-WB5-121



A部拡大図

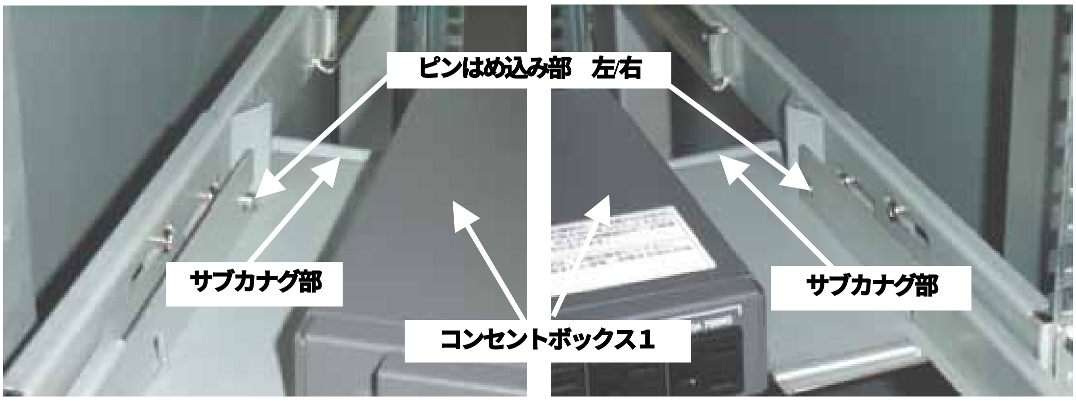
以上で、PMANモデル100クミタテのラックへの搭載が完了しました。

注１）上記(1),(3)項はラックにPMANモデル100クミタテおよびレールカナグクミＰ（レールカナグクミＳ）を同時に組み立てる時にだけ必要な作業です。
注２）レール部のはめ込みは、１回目の押し込み時は抵抗感がやや大きいですが、その後の押し込みでは抵抗感は大きく緩和します。

4.4.2 コンセントボックス１クミのラックへの搭載

取付け手順

1）レールカナグクミのサブカナグ部にコンセントボックス１クミを載せ、ラックの内部に押し込みながら左右のピン部をはめ込んでください。



コンセントボックス１のラック搭載図（背面視）

2） ネジ①又は②でコンセントボックス１クミを固定して下さい。

コンセントボックス１のラック搭載図（背面視）

注）スタンダードラック，スリムラック用と 72 インチ拡張ラックではネジの仕様が異なるので注意してください。

レールカナグクミＰの場合:コネジC：F6-SW2N5-16121
レールカナグクミＳの場合:コネジU：FS-P-10#32-12S-M-NI
＋ ザガネA：F6-WM5-121
＋ ザガネB：F6-WB5-121

以上で、コンセントボックス１クミのラックへの搭載が完了しました。

4.4.3 各装置のラックへの搭載姿勢の調整

PMAN モデル 100 クミタテ、及びコンセントボックス１クミは、その上下に搭載された他の装置と干渉しないように取付けて下さい。また、装置が傾かないよう姿勢よく取付けて下さい。
調整は、前面側及び同位相にある背面側のコネジ C、コネジ D またはコネジ U 全１２個を緩めて行って下さい。PMAN モデル 100 クミタテを２～３度出し入れし、干渉していないことを確認して下さい。

PMAN モデル 100 クミタテの搭載

ラックへの搭載姿勢の調整図

4.4.4 ケーブル接続

1) PMAN モデル 100 クミタテをラックから引き出した状態にして下さい。

2) PMAN モデル 100 に接続した電源ケーブルを、背面より見てコンセントボックス１の左側のすき間よりラックの背面に出して下さい。

3) PMAN モデル 100 に接続する信号ケーブルを、背面より見てコンセントボックス１の右側のすき間よりラック内に入れ、PMAN モデル 100 の背面に引き出して下さい。

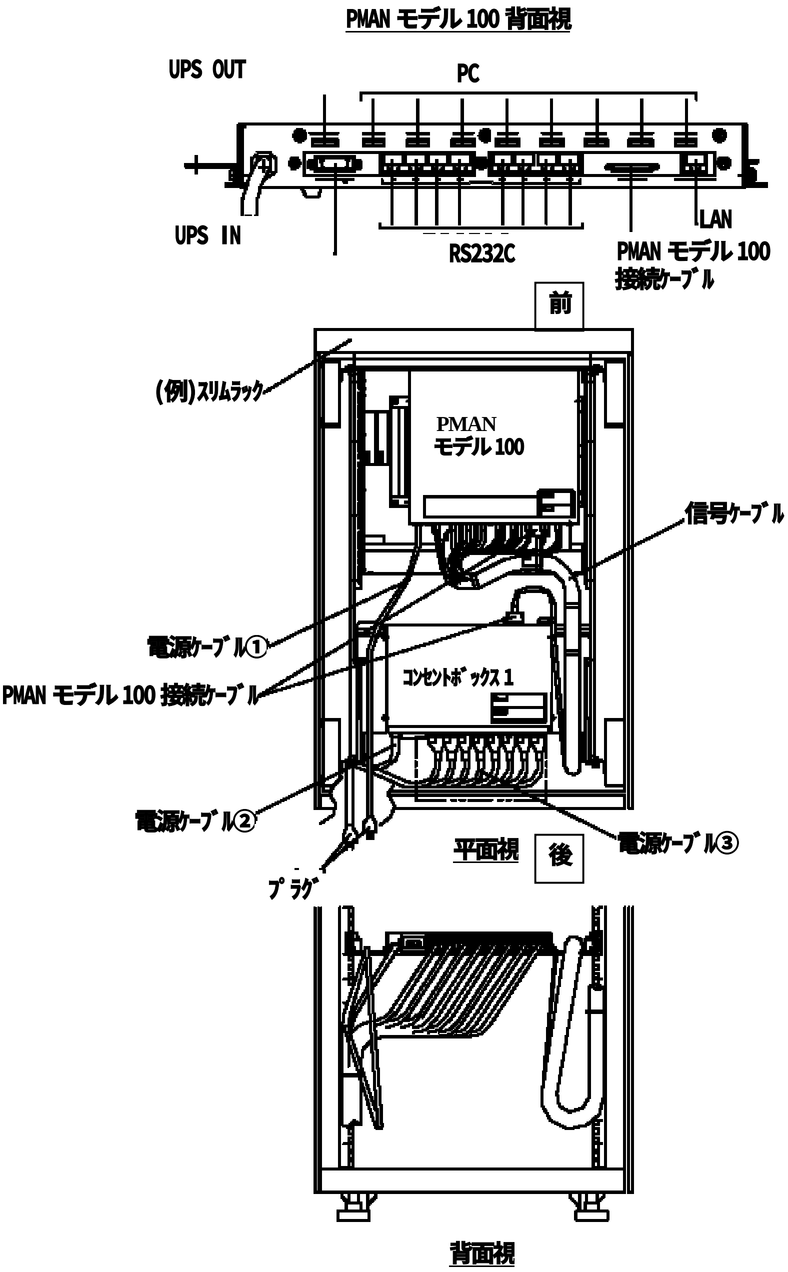
4) PMAN モデル 100 に信号ケーブルを接続して下さい。最大 19 本です。
   ・RS232C ケーブル（最大 8 本）
   ・PC ケーブル（最大 8 本）
   ・UPS ケーブル / EXT ケーブル
   ・UPS 信号カスケード接続ケーブル
   ・LAN ケーブル

5) PMAN モデル 100 にコンセントボックス１の PMAN モデル 100 接続ケーブルのコネクタを接続して下さい。

6) 電源ケーブル③のプラグをコンセントボックス１に接続して下さい。

7) ケーブルをフォーミングして下さい。（4.4.5 ラック搭載時のケーブルのフォーミング参照）

PMAN モデル 100 の電源ケーブル①及びコンセントボックス１の電源ケーブル②のプラグをラック内のコンセントに差し込んで下さい。


PMAN モデル100 背面視
UPS OUT
PC
UPS IN
RS232C
LAN
PMAN モデル100
接続ケーブル
前
(例)スリムラック
PMAN
モデル100
信号ケーブル
電源ケーブル①
PMAN モデル100 接続ケーブル
コンセントボックス1
電源ケーブル②
平面視
後
電源ケーブル③
プラグ
背面視

ケーブルの接続図

4.4.5 ラック搭載時のケーブルのフォーミング

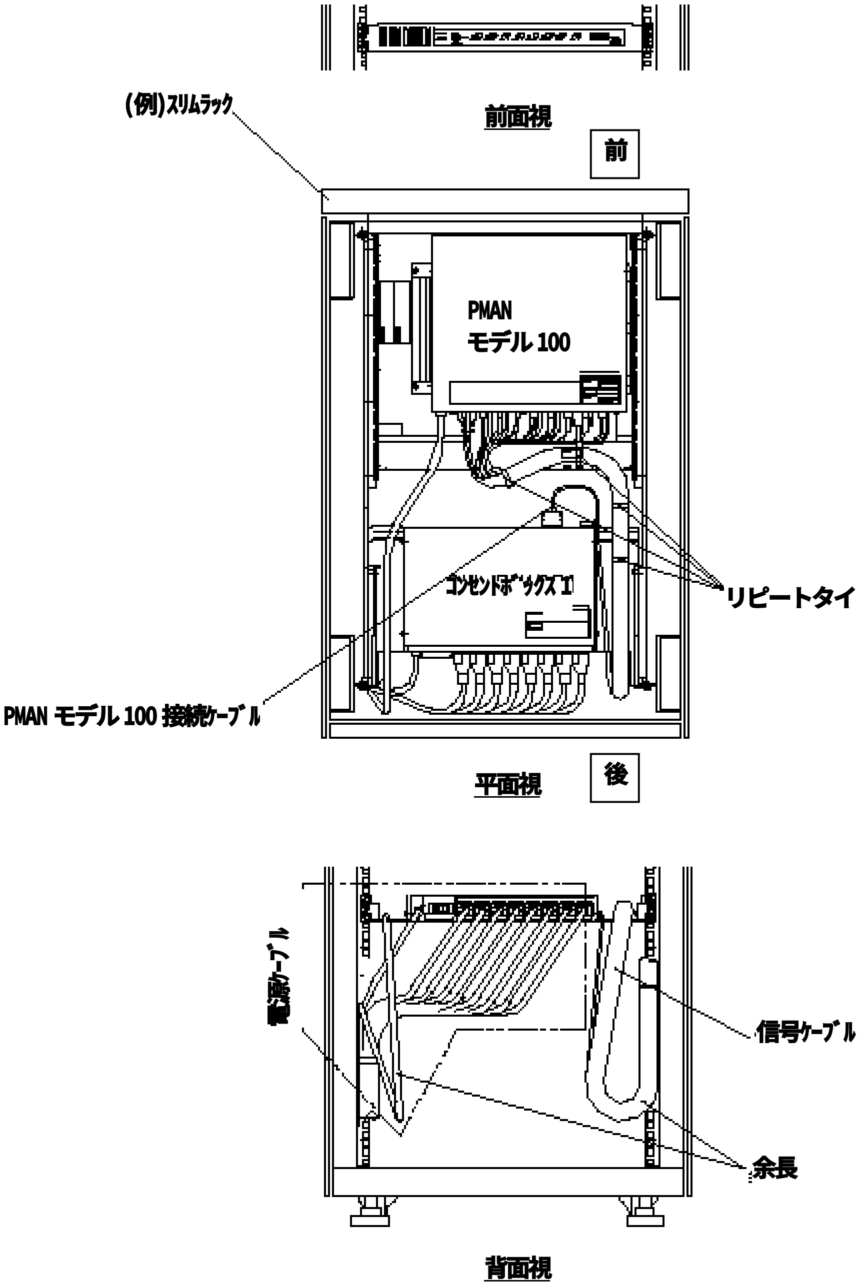
フォーミング要領

１） 背面より見て、信号ケーブルは右側に、電源ケーブルは左側に引き出して下さい。

２） ケーブルは余裕をもって曲げて下さい。

３） PMAN モデル 100 クミタテがスムースに出し入れできるようにフォーミングして下さい。
- ① 装置間ケーブルはいったんラック背面に出し PMAN モデル 100 に接続するルートを取って下さい。
- ② PMAN モデル 100 の背面側はケーブルの束が開かないようにフォーミングして下さい。PW-PM1RK1 又は～RK2 に添付のリピートタイで３箇所以上はクランプして下さい。
- ③ ケーブルの束の膨らみ及びリピートタイ先端の飛び出し等は、ラックの幅内に納まるようにフォーミングして下さい。リピートタイは必要ならば先端を切断して下さい。

＜重要＞PMAN モデル 100 へ接続するケーブルは、PMAN モデル 100 クミタテが出し入れできるように背面部にケーブルの余長を持たせて下さい。 ラックが引き出せなくなります。



ラック搭載時のケーブルフォーミング図

4.4.6　PMAN モデル 100 クミタテの出し入れ要領

（1）　ラック前トビラを開いてください。

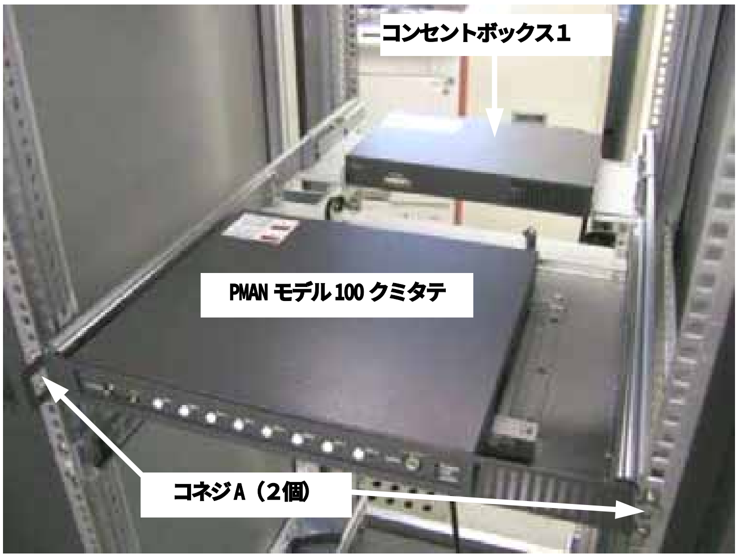
（2）　コネジ A：２個を外して下さい。

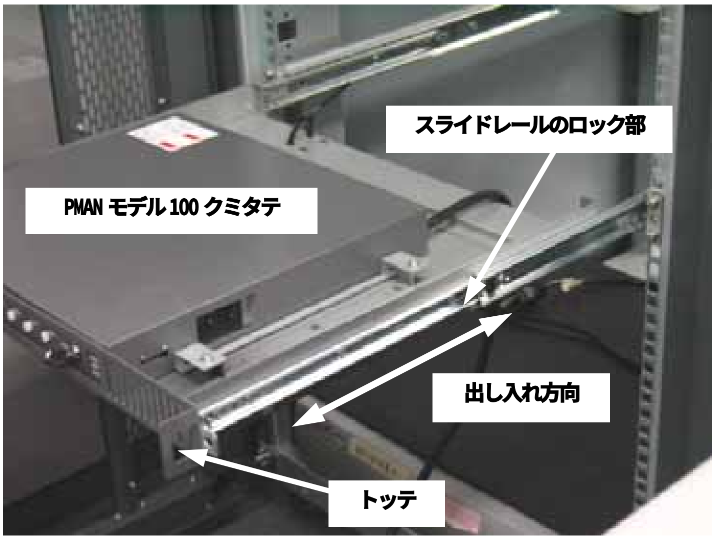
（3）　PMAN モデル 100 クミタテのトッテ部を持ち、PMAN モデル 100 クミタテをスライドレールが「カチッ」という音がしてロックされるまで前方にゆっくり引き出して下さい。

（4）　ラック内への収容は、スライドレールのロック部を押しながら、PMAN モデル 100 クミタテをゆっくりと押し込んで下さい。

（5）　コネジ A：２個を締め付け、PMAN モデル 100 クミタテをラックに固定してください。

注)出し入れ時、PMAN モデル 100 の背面に接続したケーブルに引っ掛かりがある場合はラック背部より、これを解除して下さい。





富士通　PRIMERGY/PRIMEPOWER/S Series/IPCOM
PW-PM1RK1/2　ラックマウントキット
取扱説明書　＝2 版＝
LA91001-0162
発行日　2003 年 12 月
発行責任　富士通株式会社

・　本書は、改善のために事前連絡なしに変更することがあります。
・　なお、本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利については、当社はその責を負いかねます。
・　無断転載を禁じます。
・　落丁、乱丁についてはお取り替えいたします。

All Rights Reserved, Copyright © FUJITSU LIMITED 2008
Copyright 2008 FUJITSU ADVANCED ENGINEERING LIMITED